

令和8年度 東紀州(紀北)防災ネットワーク 推進会議 防災講演会のご案内

東紀州(紀北)防災ネットワーク推進会議では、地域が主体となった「知る」「備える」「行動する」という防災活動について、官民連携を強化することを目的に、防災講演会を開催しています。

今年度の防災講演会を下記のとおり開催しますので、参加を希望される方は、《申込方法について》をご確認いただき、申し込みをお願いします。

《日時》

令和8年10月22日(木曜日) 9:30~10:50(予定)

《場所・開催方法》

- ・場所:三重県立熊野古道センター 映像ホール(尾鷲市向井 12-4)
- ・開催方法:対面による講演

《募集定員》

25名程度(先着順)

《申込方法》

チラシ裏面に記載の方法でお申し込みください。

参加費無料

(チラシ裏面に
記載の方法で
お申し込み
ください。)

《講演テーマ》

令和6年能登半島地震における災害ケースマネジメントの実際

《講師》

社会福祉法人 麦の子会

(元輪島市役所福祉課 主幹) ^{はむら}羽村 ^{りゅう}龍 様

《講師プロフィール》

埼玉県出身。出版社勤務を経て 2006 年から知的障がい者支援団体で活動し、特別支援学校の教科書を企画執筆。2015 年に輪島市へ移住し、地域おこし協力隊として活動。2018 年に輪島市役所へ入庁し、2024 年の能登半島地震の際対応にあたった。現在は社会福祉法人 麦の子会(札幌市)に所属。

【参考】災害ケースマネジメントとは

災害ケースマネジメントとは、災害発生時に住まい・経済・健康等、それぞれ異なる複合的な課題を抱えている、被災者一人ひとりの生活状況を個別に把握した上で、その方に応じた支援計画を策定し、継続的な生活再建を図るものです。

災害ケースマネジメントの推進にあたっては、行政・社会福祉協議会・NPO・医療機関等の関係機関が緊密に連携し、支援の空白や重複が生じないように、組織横断的な調整を行う必要があります。また、被災者からの支援の要請を待つ受動的な対応にとどまらず、積極的なアウトリーチ(訪問活動)により、支援が届きにくい方々を早期に把握することが重要とされています。

《申込方法について》

①URL[<https://logoform.jp/form/8vMX/1770271>]を入力し、申込フォームへ

②左の二次元コードを読み取り、申込フォームへ

③本用紙の「申込書」欄に必要事項を記入のうえ、以下

問い合わせ先へ FAX

10月15日(木)までにお申し込みください。

定員になり次第、受付を終了いたします。



申込用
二次元
コード

《会場周辺地図》



尾鷲市向井12-4

三重県立熊野古道センター 映像ホール

【問い合わせ先】

三重県紀北地域活性化局

地域活性化防災室 県民防災課

電話番号 0597-23-3407

ファックス 0597-23-2130

～令和8年度 東紀州(紀北)防災ネットワーク推進会議
防災講演会 申込書～

○お 名 前:	
○連 絡 先:	
○メールアドレス:	

※いただいた個人情報は、本講演会の開催及びアンケートの送付にのみ使用します。